

1 事業指標の設定

- (1) 令和6年3月に改定した札幌市強靱化計画は令和9年度までの5か年計画として、札幌市が抱える自然災害リスクや地域課題等に対応した23項目のリスクシナリオを設定
さらに、リスクシナリオの回避に向けた脆弱性評価の実施結果から、49項目の施策プログラムと170項目の推進事業を設定
- (2) リスクシナリオごとに事業の進捗状況を客観的に把握するため、102項目（再掲9項目分を含む）の事業指標を設定
- (3) 推進事業は具体性を持った着実な行動計画とするため、札幌市の中期実施計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」にも設定

2 進捗状況

No./リスクシナリオ	事業指標数	達成済	計画期間内に達成見込	達成困難
1-1 地震等による建築物等の大規模倒壊や火災に伴う死傷者の発生	13	0	12	1
1-2 土砂災害による多数の死傷者の発生	1	0	1	0
1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	3	0	3	0
1-4 暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生	3	0	3	0
1-5 積雪寒冷・猛暑を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大	6	0	5	1
1-6 情報収集・伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大	4	0	4	0
2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	2	1	1	0
2-2 防災関係機関の被災等による救助・救急活動の停滞	4	0	2	2
2-3 被災地における保健・医療・福祉機能等の麻痺	4	0	3	1
2-4 旅行者を含む大量の帰宅困難者の発生	3	0	3	0
2-5 避難所の開設・運営の不備による避難所環境の悪化	1	0	1	0
2-6 市民・地域コミュニティの防災活動、防災教育の不足による被害の拡大	5	0	5	0
2-7 大規模な自然災害と感染症の同時発生	4	0	4	0
3-1 市内外における行政機能の大幅な低下	5	1	4	1
3-2 災害対応体制整備の不備による被災者支援の遅れ	2	0	2	0
4-1 エネルギー供給の停止	10	0	10	0
4-2 食料の安定供給の停滞	4	0	4	0
4-3 上下水道等の長期間にわたる機能停止	5	0	5	0
4-4 道外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止	11	0	11	0
5-1 サプライチェーンの寸断や中枢機能の麻痺等による企業活動等の停滞	3	0	3	0
6-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復旧・復興の大幅な遅れ	6	1	5	0
6-2 復旧・復興等を担う人材の絶対的不足	1	0	1	0
6-3 貴重な文化財や観光資源の喪失	2	0	1	1
合計	102	3	92	7
構成比	100%	2.94%	90.20%	6.86%

3 総括

102項目の事業指標に対し、**3項目（2.94%）の事業目標を既に達成しているほか、令和9年度までに達成見込みの項目を合わせると95項目（93.14%）が事業目標を達成する見込み**であり、リスクシナリオに対する各推進事業は概ね計画どおりの進捗となっております。なお、施設整備をはじめとした一部の事業目標（7項目）につきましては、建設費高騰、人手不足などの社会情勢の変化等により、計画期間内の達成が困難と見込まれております。